

赤十字NEWS

September 2011 Vol. 856
http://www.jrc.or.jp



編集・発行 / 日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL:03-3438-1311 一部20円 赤十字新聞の購読料は、社費に含まれています。



輝くヒューマニティーの精神 ナイチンゲール記章授与式

ヒューマニティーの精神をもとに、近代看護の礎を築いた英国の看護師ナイチンゲール女史。その業績を称えて、顕著な功績を果たした看護師に与えられる第43回「フローレンス・ナイチンゲール記章」がこのほど、世界の39人に授与されました。8月4日、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下ご臨席のもとで行われた授与式では、皇后陛下自ら2人の受章者にご授与され、その功績を顕彰しました。

CONTENTS

5 6 7 8 SPECIAL 東日本大震災 活動の記録

2 TOPICS

フローレンス・ナイチンゲール
記章授与式
平成24年度 看護専門学校・
助産師学校 入試日程

3 TOPICS

AKB全国ツアーで日赤ブース出展
証言 3・11東日本大震災

4 TOPICS

国連事務総長、IAEA事務局長と
日赤社長が会談
先駆者たち ~The History~

9 10 11 AREA NEWS

全国学生献血推進代表者会議
岩手・新潟・福島・広島・千葉
栃木・北海道・静岡・東京
Voice & プレゼント ほか

12 WORLD

ケニア駐在員インタビュー
育ってきた地域保健師と
赤十字ボランティア
干ばつ襲うアフリカ北東部
国際赤十字が人道支援を拡大

クロスアップひと



AKB48
大島優子さん

みんなの力を合わせましょう

「人は、人のことを思いやって生きているんだ」—今年5月、津波で大きな被害を受けた岩手県大槌町の避難所をAKB48の仲間と訪問。ミニライブ&握手会を行った時、そう実感しました。

「自分たちの歌で、被災した皆さんを少しでも元気づけたい」という思いで訪ねた被災地でしたが、集まった方々からは「これからもがんばって」と励ましが。逆境にあっても、他人を思いやる気持ちを忘れない人間のやさ

しさに勇気づけられたといいます。

赤十字のオフィシャルメッセンジャーとしてCMに出演、バックに流れる『僕にできること』も歌っています。

『AKB48と一緒にもっとよく知る赤十字!』キャンペーンのサイトでは、AKBメンバーのメッセージを順次配信中。被災地で感じた思いがこもった大島さんのメッセージも間もなく公開予定です。

PROFILE

1988年10月生まれの22歳。AKB48がデビューした翌2006年2月、追加オーディションに合格してメンバーに。昨年6月の「総選挙」で1位、今年は2位と、ファンからの抜群の支持を誇ります。7歳から児童劇団に所属。子役として活躍してきたこともあり、AKB48内で演技派としても知られます。

チャリティーソング ダウンロードの収益を 赤十字に寄付



サインとCDを手渡す拝郷メイコさん(左)



静岡 2011.7.12

静岡エフエム放送株式会社(K-MIX)から7月12日、静岡県支部の活動資金として4万4300円が寄せられました。同県支部は「もっと多くの方に赤十字の活動に関心を持ってもらいたい」との思いからK-MIXと共同でチャリティーキャンペーンを展開中。今回寄贈された活動資金は、このキャンペーンのテーマソング『ヒカリ』の着うたダウンロードの収益金が寄せられたものです。『ヒカリ』を作詩作曲したアーティストの拝郷メイコさんも寄贈に際して支部を訪れ、「この収益金を赤十字の活動に役立ててください」と事務局長に目録とサイン、CDを手渡しました。

世代を超えて地域で交流 小清水町赤十字 フェスティバル



JRC加盟校の児童も車いすを体験



北海道 2011.8.2

北海道小清水町の赤十字奉仕団と青少年赤十字(JRC)加盟校が主催する「2011小清水町赤十字フェスティバル」が8月2日、同町のトリム公園で開催されました。今年で9回目を迎えたフェスティバルは、町をはじめ教育委員会、社会福祉協議会、消防署など地域全体の協力を得て開催されているものです。「見つめよう今、ひとの命とやさしさ」をテーマにした今年は約130人が参加。災害非常食作りやAED(自動体外式除細動器)を用いた心肺蘇生法、応急手当の実習、高齢者疑似体験、介護車両試乗体験などが行われ、参加者からは「毎年楽しみにしている。来年も参加したい」との声が聞かれました。

BOOK



『わたしの中の赤十字』 日本赤十字社「もっとクロス！」 応援プロジェクト編



B6判160頁/1,260円(税込)

いのちの現場で働く赤十字の職員やボランティアの皆さんが、自らの体験を綴った心温まるエピソード集です。国内外の災害支援や医療活動、献血業務、福祉、ボランティア活動などさまざまな現場からの声に加えて、東日本大震災で全国の赤十字病院から被災地へ駆けつけた救護班員の手記も急きょ収録。赤十字のスローガン「人間を救うのは、人間だ。」の意味を改めて問いかける一冊です。書店での取り扱いはありません。ご注文・お問い合わせは(株)PHP研究所 TEL075-681-1295まで。
※赤十字職員、JRC、ボランティアの方は、ご注文時にお申し出ください。
※(株)日赤サービスの売店(日赤本社内)でも直接ご購入いただけます。

東日本大震災 放射能分析セミナーで 救護活動をPR



東京 2011.8.4

日本赤十字社は8月4日、都内で開催された「最新分析セミナー2011 放射能分析セミナー～いま我々にできること～」(主催:パーキンエルマージャパン)の会場に赤十字ブースを展開。活動紹介のパンフレットを配付したほか写真パネルの展示やDVD「東日本大震災～被災地での40日間～」を上映し、日赤の医療救護活動をアピールしました。主催のパーキンエルマージャパンは、放射線測定器などを手がける分析機器の専門メーカー。セミナーは、同社の震災復興支援プロジェクトの一環で、官公庁、メーカー、研究機関、大学などの250人が参加しました。

Voice&プレゼント

時代が求めている「人道」の精神 磯貝弘(愛知県西尾市)

災害や事故が増え、ますます渾沌とした世の中になっています。このような時代だからこそ、赤十字が掲げる「人道」の精神がいっそう重要になると思います。人道の精神が広まるように、微力ではありますが、これからも活動に協力していきたいと思っています。

プレゼント応募方法

以下の項目を明記の上、郵送・FAX・メールにてご応募ください。上記で紹介した『わたしの中の赤十字』(日本赤十字社「もっとクロス！」応援プロジェクト編)を3名様にプレゼントします。

- ①お名前(匿名ご希望の場合はその旨もご記入ください)
- ②郵便番号・ご住所
- ③電話番号
- ④年齢
- ⑤赤十字新聞9月号を手にされた場所(例/献血ルーム)
- ⑥赤十字新聞へのご意見・ご感想や、扱ってほしいテーマなど

●応募先

・郵送/〒105-8521
東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 企画広報室
赤十字新聞9月号プレゼント係
・FAX/03-3432-5507
・メール/koho@jrc.or.jp
(件名「赤十字新聞9月号プレゼント係」)

●応募締切/9月26日(月)必着

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

日本災害看護学会大会

2011年9月9日～10日

参加費
無料

東日本大震災の救護活動などテーマに

阪神・淡路大震災後の1998年、災害看護の知識・活動の体系化を目的に設立された日本災害看護学会の第13回年次大会(後援=日本赤十字社ほか)が9月9～10日、さいたま市内で開催されます。

■会場 大宮ソニックシティ(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

一般公開プログラム(参加費無料)

- 特別講演Ⅰ(9月10日・土 9:00～10:30)
「日航機墜落事故救護活動の体験から～今、語れること、語り継ぐこと～」
座長:浦田喜久子(日赤事業局看護部)
講師:前田陽子(前橋赤十字病院看護部長)
- 特別講演Ⅱ(9月10日・土 13:00～14:40)
「地球のステージ～震災を乗り越えて～」
※映像・音楽・語りで綴るコンサート形式の公演です。
講師:桑山紀彦(NPO法人 地球のステージ代表理事)
- ワークショップⅤ(9月10日・土 13:00～15:00)
「東日本大震災の被災地における支援活動の経験知と地域防災活動の課題」
- ワークショップⅥ(9月10日・土 13:00～15:00)
「災害看護カフェ」～災害イメージネーションゲームで考える防災と看護～
※事前申込制、詳細はホームページをご確認ください
- 公開イベント(9月9日・金 13:00～16:30、10日・土 9:00～15:30)
救急法(心肺蘇生法とAEDの使い方)、救護活動ビデオ上映ほか(日赤埼玉支部)

■お問い合わせ先

大会事務局(日赤事業局看護部内 tel:03-3437-7505)

※他にも一般公開プログラムがあります。大会の詳細については、ホームページ(<http://www.c-linkage.co.jp/saigaikango13/>)をご覧ください。